

情報科学コース

修士論文提出の基準 (通常修了の場合)

1. 修士論文は、情報科学あるいは応用数学の特定分野に関する在学中の研究成果を著したもので、新たな知見を含むか、あるいは当該問題に関する総合報告としてすぐれていること。
2. 修士論文の内容に関して、学会シンポジウム、大会、研究会で本人が登壇発表したかもしくは発表予定であること。

修士論文審査の基準 (通常修了の場合)

- 「修士論文提出の基準 1, 2」を満たしているべきこと。
3. 審査委員会において論文内容のプレゼンテーションを行い、質問に的確に答えられること。
- 情報科学あるいは応用数学の特定分野に関しての十分な知識および研究方法を身につけていると認められるべきこと。
- 以上を指導教員、および教授を含む2名以上の審査委員で審査する。

修士論文提出の基準 (早期修了の場合)

- (1) 早期修了審査は、研究業績が優秀な前期課程学生に対して、さらなる研究推進のための進路選択を促進する目的で実施する。本制度が、本学博士後期課程への進学奨励になることが望ましい。
- (2) 以下の研究業績が一つ以上ある者、もしくはそれに準じる研究業績のある者を博士前期課程の早期修了審査対象者とする。筆頭著者もしくはそれに相当する寄与をしている査読付き論文 (受理されていれば出版前でも可)、もしくは、その分野で著名で、採択率が厳しく、論文誌採録と同等以上の評価を得られる国際会議で本人が発表した論文 (受理されていれば発表前でも可)、もしくは、研究に対する顕著な賞の受賞。
- (3) 1年修了審査対象学生数は同期学生の5%以下、1.5年修了審査対象学生数は同期学生の10%以下を目安にする。
- (4) 早期修了審査申し込み締め切り直近に開催する教室会議において、指導教員が候補者の研究業績情報を提出し、審議し、上記条件に則して早期修了審査対象者を決定する。

修士論文審査の基準 (早期修了の場合)

通常終了の場合の修士論文審査の基準に加えて、上記修士論文早期終了の提出基準を満たしていることを3名以上の審査委員により審査する。